

令和3年度九州学生ハンドボールリーグ春季大会・代替大会
新型コロナウイルス感染防止について

九州学生ハンドボール春季大会は、できるかぎりの新型コロナ感染症対策を施して、**無観客で大会を実施**します。「**感染予防のための大会ガイドライン**」は感染リスクと感染拡大をできるだけ抑えることを目的としています。運営側と参加者の連携協力の下、安全で有意義な大会となるようご協力をお願いします。

なお、**各試合会場（アリーナおよび観客席）へのチーム関係者以外の立ち入りはできません**。全ての参加者（運営関係者とチーム関係者）には、大会14日前から健康チェックシートの作成と、大会期間中の継続した健康チェック、マスク着用および、周辺のセルフ消毒作業などが求められます。

特に新型コロナウイルス感染状況は日々変化しているため、これからの事態収束も予測できません。場合によっては、試合および大会を中止することがありますことを申し添えます。

感染予防のための大会ガイドライン

● 参加者（運営関係者・チーム関係者・審判）の感染対策（大会前）

①一般的な感染予防について

- ア) 健康的で規則正しい生活、感染予防ルールを守った社会生活、体調管理の励行
- イ) 手洗い・うがい・シャワー（入浴）などの徹底
- ウ) 「3密」の回避・マスク装着の徹底
- エ) 談笑を伴ったマスクなし会合・会食に注意

②安全で無理のないハンドボール活動再開について

- 計画的な運動再開、安全なトレーニング、練習環境の管理
- *緊急事態宣言解除後 **運動再開後、最低でも3週間以上のトレーニング期間**を設ける

③大会前の健康チェックについて

- ア) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用を推奨する
- イ) **大会14日前からの個人用「健康チェック」フォームの入力を必ず行う**

（「健康チェック」のフォームアドレスはこちら↓）

チーム用 <https://forms.gle/P4UyyCeAXYCEVbGNA>
→ **大会受付までにチーム代表者（選手も可）がこのフォームに入力すること**

個人用 <https://forms.gle/eBjsW6dR8iNeEyHq5>
→ **大会2週間前から、各個人でこのフォームに入力すること**

*個人用フォームに入力できない人は、下の用紙を印刷して健康チェックを記入し大会受付時に提出すること

→ <https://fukuoka-u.box.com/s/x0pdix3otgxockqmetukxfpf1hcu9uuu>

- ウ) 大会前に体調不良があっても、次の**A・Bの両方の条件を満たしている場合**、大会への参加を認めることがある。事前に体調不良者があった場合には大会本部（感染対策担当）へ確認をとること

A 感染疑い症状の発症後、**8日以上経過**している（発症日を0日として）

B 薬剤の服用がない状態で、解熱・症状消失して**3日以上経過**している

（解熱・症状消失日を0日として）

④大会会場への移動と宿泊について

- ア) 一般的な感染予防策を講じた上で、公共交通機関やチーム専用車両を利用する
- イ) 自家用車による移動では、1台に複数人での利用をできるだけ行わない
(2人以上で乗る場合には、マスクの徹底、座席間隔、開窓に配慮する)
- ウ) 宿泊施設は、感染症対策をとっている施設を選ぶ
- エ) なるべく個室での宿泊とし、複数人での密状態な寝食を避ける
- オ) 宿泊階、食事場所では、一般客とできるだけ接触しないように注意する
- カ) 体調不良者が出た場合、隔離して滞在できるような部屋割りを工夫する
- キ) 宿泊施設でのミーティングなどはオンラインを活用する
- ク) 特に上記 ウ) ~カ) については、事前に宿泊施設と相談をしておく

● 参加者（運営関係者・チーム関係者・審判）の感染対策（大会中）

①大会中の健康チェックについて

- ア) 大会中の個人用「健康チェック」は、引続き専用フォームに入力すること
毎試合ごとに、会場入場受付で確認する
- イ) 受付で、大会前・大会中の「健康チェック」の確認がとれない場合には、会場への入場や試合ができないことがあるので、特に注意すること
- ウ) 大会中に発熱や体調不良が出た場合には、大会本部（感染対策担当）へ速やかに連絡すること。場合により、会場への入場や試合が不可となる

◎ 体調不良者が出た場合の対応

②体調不良になったら、1. 大会本部、2. 相談ダイヤル、3. 医療機関 の順で連絡を進める

- ア) 医療機関への受診の前に、大会本部と、福岡市の相談センターに連絡すること
- イ) チーム関係者は、体調不良者への接触をできるだけしない

新型コロナウイルス感染症の症状は、発熱、呼吸器症状（咳嗽、咽頭痛、鼻汁、鼻閉など）、頭痛、倦怠感、下痢、嘔吐など様々です。このような症状が出た場合、必ず、福岡市新型コロナウイルス感染症相談ダイヤルに連絡してください。

相談ダイヤル：092-711-4126（24時間対応）

新型コロナ感染症対応医療機関：

<https://fukuoka-u.box.com/s/yek9hf95vzqsri5mozw0ha3dgwts8tn6>

③大会中の相談ダイヤル連絡・医療機関受診後の大会本部への連絡について

- ア) 体調不良等で相談ダイヤル連絡・医療機関を受診した場合には、速やかに大会本部（感染対策担当）へ 体調不良者連絡票 を提出すること
- イ) 提出された体調不良者連絡票をもとに、医療機関および関連する保健機関の診断・意見を大会本部で総合的に審議して、個人・チームまたは対戦相手の大会参加継続の可否判断を行う

(体調不良者連絡票はこちら↓)

<https://fukuoka-u.box.com/s/isk251j518gts65uvvq3j91a3uh6i4ev>

● 参加者（運営関係者・チーム関係者・審判）の感染対策（大会後）

- ア) 大会終了後2週間は、自主的に体調チェックを行い、この期間に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、相談センター、かかりつけ医などに連絡後、必ず大会本部（コロナ対策部）に報告すること
- イ) 大会後の「健康チェック」は、提出する必要はない
自主的な体調チェックに各チーム・各自で活用してもらいたい

● 個人情報の管理

- ア) 参加者の個人情報は、厳正な管理の下で保管し、健康状態の把握、試合会場への入場やゲーム参加の可否判断および必要な連絡のためのみに利用する
- イ) 個人情報保護法の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供はされない

●試合会場の感染対策

- ① 各試合会場ともに一度にアリーナ内に入れる総数は、運営・チーム関係者あわせて200名程度とする
- ② 試合はアリーナ内「**完全入れ替え制**」で実施されるため、各チームは決められた時間に各会場の入場口へ集まる。代表者が受付を行った後で、入場管理を行う
- ③ 各会場には受付を設置する（2人体制）
 - ア) チーム代表者（各チーム1人）が入場受付
 - イ) 受付にてチーム用・個人用「健康チェック」の確認
→ **健康上異常があれば大会本部へ連絡・協議・判断**
 - ウ) チーム全体の入場
 - エ) 試合終了後、退館準備ができたなら代表者は受付に連絡して退場
- ④ チーム全体の入場時は、各チームに与えられた消毒剤にて適切に手指消毒を実施する
- ⑤ 施設内では、他の利用者との接触をできるだけ避けるために、**行動の制限**がある施設内では一般的な予防対策を徹底する
 - ア) トイレは常時利用可能
 - イ) シャワー利用禁止
 - ウ) 更衣室については利用時間や場所を制限する（**同時に30人までが使用可能**）
→ 受付時、各チームに更衣時間と場所を案内する
 - エ) アリーナ・観覧席以外のスペースの利用禁止（Wup、MTG 禁止）
 - オ) 各会場の観覧席で、簡易的更衣、荷物管理、部員待機、マスク着用の応援は可能
 - カ) 運営スタッフによる定期的な施設内の見回りを実施する
- ⑥ **各チームがセルフで行う「消毒」**
 - ア) 選手スタッフが利用した観覧席・更衣室（棚・椅子・ドアノブなど）の消毒
 - イ) ゲームで利用したチームベンチの消毒（ハーフタイム・試合終了直後）
 - ウ) 試合終了直後のアリーナ床のモップ掛け
- ⑦ 運営スタッフが行う「消毒」
 - ア) オフィシャルテーブル、タイムカード、ボールその他関連物品の消毒
 - イ) 運営スタッフ・審判が利用したスペース・物品の消毒
- ⑧ アリーナの常時換気を行う
 - ア) 運営スタッフは、各会場サイドと連絡を密にとり、アリーナ内の開閉窓を行う
- ⑨ 体調不良者の隔離エリアを確保する
 - ア) 体調不良者と接する場合の感染予防対策を徹底する
（マスク・フェイスガード・ビニルグラブ）
 - イ) 体調不良者対応マニュアルに沿って相談センターへ連絡する

●競技上の感染予防対策に伴う変更点

- ① 試合前のトス、ユニフォームチェック
前試合の終了後、消毒やフロア清掃が終了した後で、コートオフィシャル席で行う
- ② ウォーミングアップ（ボールを使用したもの）
前試合の終了後、消毒やフロア清掃が終了した後で、ボールを使用したウォーミングアップをハーフコートで行ってよい。 試合開始時間までの概ね 30 分間
- ③ コート内でのみマスクを外すことができる。ベンチでは役員、選手ともできる限りマスクを着用する
但し、指示を出すヘッドコーチ 1 名はマスクを外してよい
- ④ 試合前後の挨拶は、選手同士、声を出さずに一礼のみとする
試合後の相手ベンチ、審判、オフィシャル席への挨拶は行わない
- ⑤ 試合前後のハイタッチや握手は行わない
- ⑥ タオル、ドリンクボトル、アイシングバッグなどの共有は禁止する
- ⑦ ハーフタイム
選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）
次試合のウォーミングアップは実施されないため、後半の自陣ベンチにて待機可能
- ⑧ 試合終了後
選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）

▼試合運営上の対策

- ・各会場の選手受付には会場責任者を配置する
会場責任者： 福岡大学（森口哲史）、九州産業大学（福田潤）
- ・オフィシャル席、交代地域、ベンチ、の配置・スペースを十分に確保する
- ・オフィシャル担当者は、福岡大学・九州産業大学にて事前に決定しておく
- ・消毒剤（オフィシャル）、使い捨てペーパー、ビニール手袋、ゴミ袋設置の配置
- ・試合球（4 個）、タイムカードなどの消毒（運営の消毒）

なお、今後の感染流行状況によっては、試合運営上や競技上の変更点が、追加または削除されることがある

大会本部

- 競技上の問合せ先
三輪 090-8294-0781
田中 090-9595-8365
政田 090-8400-9492

- 体調不良・新型コロナウイルス感染症対策の問合せ先

森口 090-4771-4696
福田 080-3240-0213